

ゴミ問題

問 ごみ処理はどのような方向に

答 直接持ち込み方式から転換もある



太谷 正治議員

【利用料金とリサイクル】

問 直接持ち込みの料金変更の目的は。

答 現在、大町市は10kg / リンセンターは10kg / 210円。これと比べると白馬・小谷は格安となっています。ごみ減量化と分別化のため、段階を踏んで今回は60円 / 10kgを100円へと変更をお願いしたい。

問 リサイクル品等の集積所を現在のゴミ施設の計量ゲート前にできないか。

答 村では各区に集積所設置を推進しています。



分別化が進むごみ処理（パッカー車とごみ処理場）

新施設では、リサイクルセンターを併設する施設になるものと考えます。既存施設を利用しての設置はできないかと検討しましたが、適当な施設が見つからず、新年度の設置は断念しています。

問 直接持ち込みの今後と、協力を得るための方策は。

答 次の焼却施設が何処になるかわからない状況下、どこになっても良いようにするためには、むしろ直接持ち込み方式から収集方式への切り替えが必要です。

【観光問題】

問 観光局長の報酬が公募で400万円であったが、今回上がると聞くが。

答 観光局長の理事会でお願いし、課長並み700〜800万円にしたいと考えている。

問 前年対比でのスキー客の動向は。

答 1月は7・1%減、2月は5・8%減、2月末で69万5537人の利用者で14・3%減となっております。

不景気による影響や年末年始の曜日回りが悪かったと考えられます。

宿の稼働率は。

問 11月59・8%減、12月32・7%減、1月7・5%減、2月は13万3800人泊で4・1%の減という結果です。スキー客の減少がそのまま減につながっています。長野県は稼働率33%で、全国的にも秋田・山形・新潟に次いで悪い状況です。

問 他の観光地との差別化は。

答 観光地間の競争が大変厳しい状況です。観光局では観光振興中長期ガイドとして、白馬ブランドの再生拡大認知を進めることにより、シーズンを通して集客の拡大と収益性の拡大を目指す計画を進めています。